1七 名 言司

代名詞

前期のテストではこれだけで、大丈夫。

(3と午が別物である)ことを意識しておく。)

1. 主格

yo	nosotros
tu	vosotros
él / ella Tusted	ellos/ellas ustedes

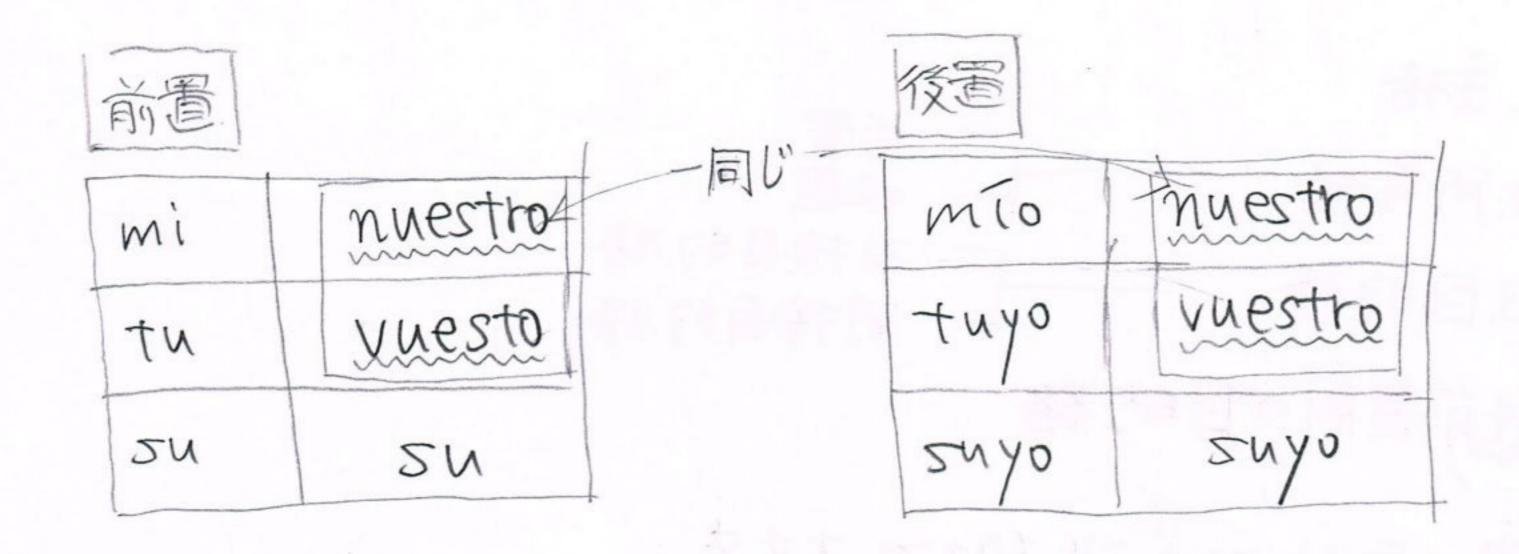
ましてはアクセントをなくすとなるというなる。

(注)アクセントをつける
アクセントをつけるいとして定行詞

1941 - 1941 - 2

在一个

0 0



覚えるホペント

- のからのにはアクセントを付ける。
- 。複数形にする時は全てSを付ければ良い。
- 。後置形は全てでで終める
- の女性形になるのは最後がOで終めるものだけで

3は一旦飛ばす(スパースの関係)

4 前置詞の目的格

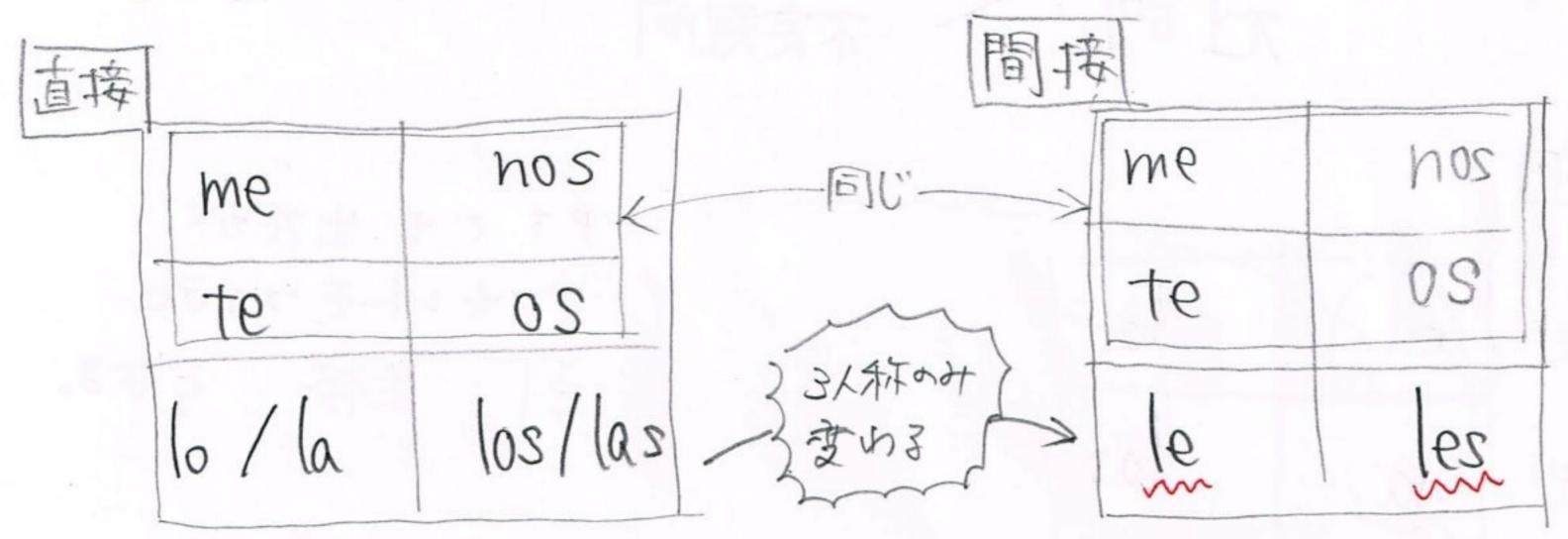
vosotros
ellos/ellas ustedes.

かんと すに 以外には 主格と同じ

直と間面方ある時に

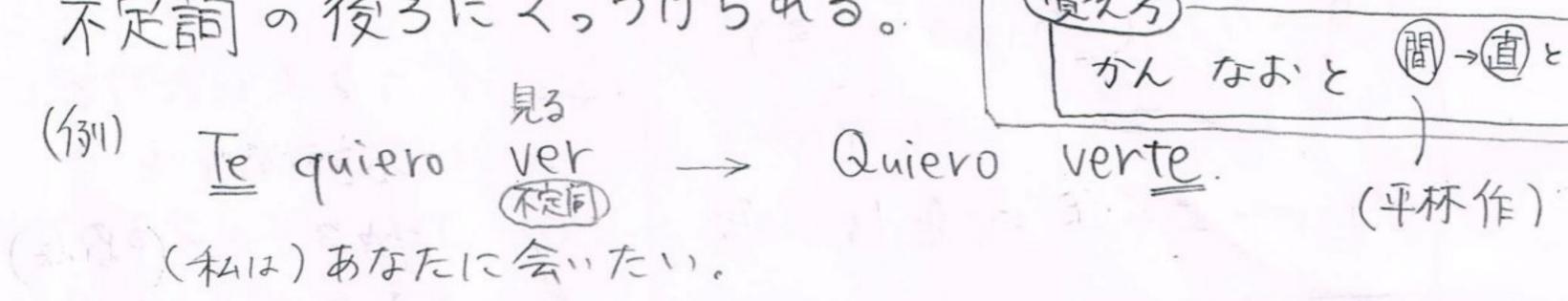
→直の語順

目的格





- の目的格は動詞の直前に置く。
- の不定詞の後ろにくっつけられる。

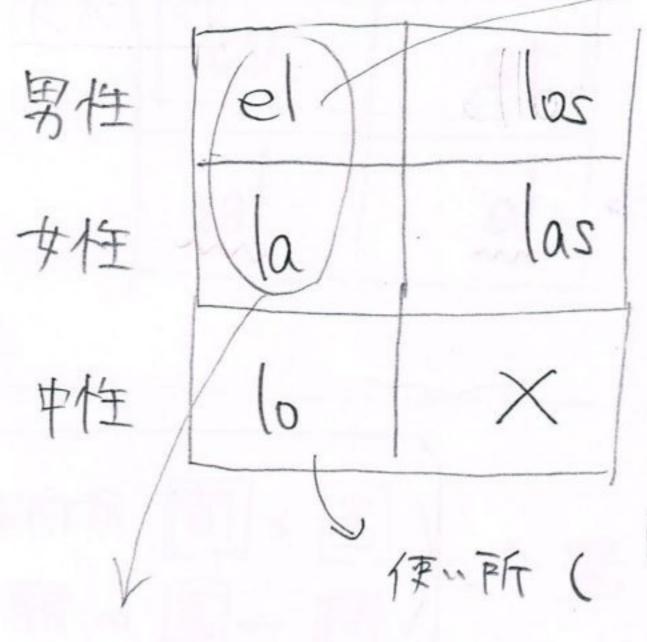


・間と直の両方が3人称の時 間は Se になる。(間が複数でも se)

(行列)彼にそれを見せる。

冠韵 一定冠间

@ 定科河



アフセレトをつけると
を1:主格となる。

使い所((例) 6 importante: 重要はこと

一 () () nino : 包子) ー エルニーニョ : el niño ラニーニャ : la niña

← バカみたいだけと"
付名詞なと"と
ゴチャゴチャするので
これで受えると良いと思う。

@ 不定冠间

男性 un unas
the una unas

「いくつかの」という意で Some のような感じで使う。

Ser & Estar & Hay の1東い分け

- の Ser: ① Ser+{ ⑩ → (永続的) 付貨、身分 など"
 - ③ Ser+de+图 > 出身地, 村料 など
 - @ estar: 0 estar+⑩ > / 1 意
 - ③ estar + 場所 => 所在
 - 10 hay: 13-12



- 期"Serが永統的, estar を一時的と捉ると 覚えやすい。
- estar whay の作い向け 脚が存在するかどうかが問題 > hay
 - ※使い分けだけに焦点をあて, 活用表,例文,文法は略したので スパ語 例のフットヤラケフッ) を見ておいた方が良い。

疑問詞

(いつ) ⇒ cuándo

とこ ⇒ dónde

註 ⇒ quien

何 ⇒ qué

いくつ ⇒ cuánto

とのわた ⇒ como

#817F

- 疑問何には火ずアクセントが付き、アクセントを失くすと、 接続同や関係副间になる。
 - 疑問问を使う疑問文の語順は炎が

重的韵+(前置韵)+不定韵

	tener que	6	へしなけれるでならない
	poder	6	~ できる
	querer	6	~ したい
	Saber	(A)	(方法を知っていて、)へて、きる
	in a		= be going to
0	Venir a	6	んするようになる。へになる。 ではるではあが来なのに対して ころらは結果
	esperar f 特? 期符的	0	(へするのを期待する)へしたい。
	Pensat 考23		~ するつもりた"
	enpesar a	(A)	~ (#30)3
	a cabar de	8	~ 1 3 2 3
	terminar c	le ®	人 1 3 2 2 3

ののドランメタトのものは動詞の意味が分かっていれば、自然と分かる。